



vol. 42

◆地域の皆様と所沢ロイヤル病院を結ぶ広報誌

# はなみずき



発行 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部  
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11  
医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院  
TEL:04(2949)3385 FAX:04(2949)7872  
ホームページアドレス <http://www.wam-town.jp/k/tokorozawa/>

平成28年4月1日発行

〈病院理念〉私たちは安全で良質な医療、心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

## 居宅介護支援事業所ロイヤルってどんなところ？

所沢ロイヤル病院内ロビーの一角には『居宅介護支援事業所ロイヤル』という事業所があるのをご存じでしたか？ この事業所では介護を必要している患者さまとご家族さまに、ご要望を細かく伺いながら、その方の状態や生活環境にあった介護計画をご提案する業務を行っています。介護をする方もされる方もお互いにストレス無く、住み良い生活をお送り頂けるようお手伝いいたします。

### ●活動内容

ケアマネジャーを配置している事業所で、要介護認定の申請代行やケアプランの作成、サービス事業者との連絡、調整が主な業務です。主任介護支援専門員も配置しているため、介護保険に関わる講演や、新しく介護支援専門員の資格を取得された実習生の指導についても行ってまいります。

### ●当事業所の特徴

女性4名と男性1名、10年以上の経験者がほとんどで、どんなケースにも対応をいたします。ロイヤルグループとの連携はもちろん、包括支援センターや地域の各事業所との連携も十分にとれる体制をとっています。

### ●今年度の意気込み

主任介護支援専門員も3名体制となり、どんなケースにでもフットワークを効かせ丁寧な対応を心がけ地域に貢献をしていきたいと思っております。

居宅介護支援事業所ロイヤルへのお問い合わせは

時間/9:00~17:30  
電話/04(2949)1511

★定休日:日曜・祝日および年末年始(12/30~1/3)

(文/所長・齋藤 看護部・松岡)



●スタッフ紹介……(左から) 齋藤、根岸、林、金子、立石



# 介護予防教室『小手しゃんウォーキング』で講義

このたび、小手指第1地域包括支援センターが企画した介護予防教室『小手しゃんウォーキング～春を「しゃん」と歩こう～』について当院へ講師依頼がありました。

全5回コース中、第2回の「効果的な歩き方と靴の選び方について」には理学療法士1名・補助スタッフ2名が講師として、第3回「健康な骨と筋肉を作る食事」には、栄養士1名・理学療法士1名が講師として講義を行いました。

今回参加された方は65歳以上の比較的健脚な方で、約20名もの方がご出席してくださいました。皆さま、まだまだ現役と云っても過言ではないくらいはつらつとされていて、50年前とは違って70歳過ぎても足腰しっかりと歩いている方も多かったのが非常に印象的でした。

当院ではこれからも地域の団体や事業者と協力し、地域のみなさまに向けた情報発信をしてまいりますので講演のご依頼等ございましたら、お気軽にご相談ください。

講義風景



**小手しゃんウォーキングのご案内**

時間 午前9:30～12:00

場所 小手指公民館第4分館 及び 小手指公民館第4分館周辺

※雨天時は、小手指公民館第4分館内で健康体操を行います。

| 回   | 日    | 内容   |
|-----|------|--|
| 1回目 | 3/2  | ウォーキングの準備<br>足力の状態確認に基づく健康指導<br>ウォーキング・こじしゃん体操           |
| 2回目 | 3/9  | 歩行姿勢の歩き方と靴の選び方について<br>講師：所沢ロイヤル病院 理学療法士                  |
| 3回目 | 3/16 | 歩行姿勢と筋力を作る食事<br>講師：所沢ロイヤル病院 管理栄養士                        |
| 4回目 | 3/23 | 歩行姿勢<br>歩行姿勢の改善のための生活について<br>ウォーキング・こじしゃん体操<br>生活指導      |
| 5回目 | 3/30 | ウォーキングイベント（※）についての申し込み<br>イベントを企画し、3月のお花見ウォーキングを予定しています。 |

●講演ご相談連絡先  
所沢ロイヤル病院

TEL 04-2949-3385(代表)

【担当】地域連携担当 加藤・澤田



## 豆ちしき 地域包括支援センターとは……

地域包括支援センターは、市町村が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、3職種チームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設です。

主な業務は、介護予防支援及び包括的支援事業（①介護予防ケアマネジメント業務、②総合相談支援業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）で、制度横断的な連携ネットワークを構築して実施しています。

所沢ロイヤル病院のある所沢市には、11ヶ所の地域包括支援センターが設置されています。





# 大久保院長のほっとホット

## 中欧旅行と難民問題

昨年9月に中欧諸国を旅する機会を得ました。今回も妻との二人旅です。半年近く前から計画を立て、航空券、ホテルを自分で取り、各国の移動方法も国内で予約可能なものはすべて手配しました。ハンガリー、オーストリア、チェコの3カ国を回る予定でした。しかし、最初に訪れる予定であったハンガリーのブタペストは、丁度シリア難民が大量に押し寄せて、日本を出発する数日前から鉄道も、長距離バスもストップし、ブタペストに入っても出られそうもなく、急遽ハンガリー行きは中止し、経由地のフランクフルトでドイツに入国しました。その後は予定通りにオーストリア、チェコを回ることが出来ました。ウィーンからプラハに移動する際、駅のコンコースの端に難民と思われる小さな子供を含む50人ほどの人々が、硬いコンクリートに布を敷き、座り込んでいました。でも、身なりもこざっぱりとしていて、食事などもボランティアから配給されているようで、見た目には元気そうでした。難民の移動は、今でも続いています。内戦で一番苦労をしているのは一般の庶民です。受け入れる側も大変でしょうが、民族、文化、宗教の違いで排斥するのは、いかがなものでしょうか。私たちも、あらゆる差別をなくしていきたいものです。



オーストリアの国花：エーデルワイス



チェコの国花：菩提樹



## 倫理研修会を開催しました！



去る2/4(木)午後5:30から、当院3階の会議室にて倫理研修会を開催致しました。

防衛医科大学校緩和ケアチーム室・藤本肇医師を講師にお迎えし、「何を伝え、何を支えるべきか 一看取りに寄り添う緩和ケア」と題したテーマで講義を行って頂きました。当院からは実に約100人近い職員が参加し、非常に熱気溢れる講義となりました。

藤本先生は平成17年にはまだ馴染みの少なかった時代に先駆け、巷間に緩和ケアクリニックを設立。以来、約650人の方々の在宅医療に携わってこられた方で、今回は疼痛に対する投薬管理の手法や患者・家族への精神的なフォローなど、これまで先生が培われた膨大な臨床例をもとに、とても実践的な講義をしてくださいました。

講義を終えての所感として、『患者・家族にとってのより良い医療』とは最高の医療技術の提供であることはもちろんですが、何よりもまず、『自分(家族)の想いを理解し、意志の疎通ができる医療者が担当してくれている』ことが何よりも心強く、不安の間に飲まれそうな時に心の支えとなる希望の灯であるのだと強く感じました。そして、『誰かを支えたい、助けたい』という『優しさ』が全ての医療の原点であり、私たち医療に携わる者は常に相対する患者・家族の痛みを簡単に他人事にはならないのだと、あらためて我が身の引き締まる思いが致しました。

(文/総務課・関口)





# みるみる! 3/1やるん♪

## 桜とクローン

あっという間に春ですね。日本人にとって、出会いと別れの季節を彩る桜は、色々な思い出と共に記憶に刻み込まれた、特別な花です。

日本で最も本数が多く、身近な桜と言えば、ソメイヨシノです。ソメイヨシノは、今から150年ほど前、江戸時代末期の植木職人が観賞用に交配して作った品種です。日本古来からある桜と比べると、ソメイヨシノは新参者と言えますが、成長が早く美しい花を咲かせるため、日本中に植樹され、あっという間に本数を増やしました。

このソメイヨシノ、実は「クローン生命体」なんです！

ソメイヨシノは最初的一本以降、人間の手によって延々と接ぎ木や挿し木で増やしてきました。この方法で増やすと、DNAは変わりません。つまり、日本にある全てのソメイヨシノは同じDNAを持つクローンなのです。

では、なぜそのような方法で増やしたかということ、ソメイヨシノは自身で増えることが出来ないからです。桜は自分の花粉では受粉できないシステムです。ソメイヨシノは全て同じDNAなので、どの個体の花粉も自分のものと認識してしまい、種を作れません。ソメイヨシノにサクランボが実ることがありますが、それはたまたま別の品種の花粉が受粉したため、実った種からできるのは「雑種」です。

桜とクローン…考えれば考えるほど不思議な気持ちになる、そんなお話でした。

(文/看護師・小野)



所沢ロイヤル病院でお花見気分を……!



ソメイヨシノ

## お知らせ

### ●失語症友の会

毎月第4火曜日に開催している失語症の方々の交流会です。  
どうぞお気軽にご参加ください。

開催日：平成28年4月26日(火) 午後2時～

場所：2階言語聴覚室

参加対象：脳卒中等で失語症を呈した方ならばどなたでもご参加頂けます。

参加ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。

【連絡先】リハビリテーション科 言語療法担当 TEL04-2949-3385(代表)



※上記内容は諸事情に因り予告無く変更となる場合があります。判り次第、ポスター掲示及びウェブサイト上でお知らせ致しますのでご理解ご了承ください。

## 編集後記

日々暖かくなり、気持ちも軽やかになって嬉しい今日この頃……。ですが!今年もついに花粉の季節がやってきました。私は毎年、この時期に症状が出始め、目鼻の症状や眠気に悩まされています。マスクを着用したり、室内では空気清浄機を活用したりと対策はしていますが、辛いものですね。最近では、花粉症に効果的な食べ物もよく話題になっていますね。皆さまはどんな花粉症対策をしていますか?

(文/リハビリテーション科・榊原)

